

フラワーショップ **花新** 鷹田 浩新

# 全ての人に ありがとう

No.66

小矢部のすずらん通りにあるフラワーショップ花新。

店内は切花や観葉植物以外に、小さな花関連グッズや大きな花器が並ぶ。白黒とベージュでレイアウトされた店内は、既存の花屋とは少し違っ落ち着いた印象を受ける。そんな「花新」の店長はチャレンジ精神と感謝の心を合わせ持つ鷹田浩新さん。実家の花新を継ぐために10年間、花屋の修行をし、花の品種はもろろん花を流通させる仲間も経験してきた。



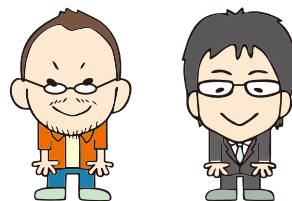
中でも一番の学びは、「人として一番大切なのは、感謝の心」と語る浩新さんに仕事の思いを伺った。

「花屋をやるなら面白くてインパクトのある事をしたい。」

東京から戻ってきて店を継いだ時に最初にしたのは花新の店内を変えること。

「室内のペンキ塗りからレイアウトまで全部自分でしましたよ。当初は切花しかなかったのですが、今は花器や雑貨も揃い、ようやく自分のやりたい

この街で頑張る人、会社、団体を「人と人とのつながり」で紹介していきます。



店になってきたと思えます。」

店を継いで5年。小矢部の現状を見据えた時のステップが必要だと感じた。

「とにかく商店街の通りに人が少ないんですよ。今までのように、このま

ま店を構えて待つだけではキツイですね。どんな外に向かって動いて人と人の繋がりを大事にしていかないとけない！」

実際、人との繋がりがから新しい注文もくるようになった。中には変わった仕事の依頼も...

「元気の無くなった観葉植物をもつ一度しっかり元気にして欲しいという仕事を頼まれてます。花の病院みたいでワクワクしています。」

非常にチャレンジ精神が旺盛な浩新さん。切花や観葉植物を売るだけでなく、花に関わる事ならなんでもやっていきたいと意欲満々。特に楽しんでしている仕事の一つに花を使ったデザインがある。



「普通、花と花器でデザインするのですが、僕は色んなものを組み合わせる驚くようなフラワーデザインをしています。『穴をあけた竹』と『ガラス板』で門松を作ったこともあります。」

「僕の花のデザインを楽しみに仕事を依頼してくる友人もいます。凄く嬉しいですよ。」

どんな思いで仕事をしているか?の質問に、今まで一番の真剣な顔で「自分は花のデザインが上手いとは思ってない。ただ、僕の店に関わってくれた全ての人に『ありがとうございます』の感謝の気持ちで仕事をさせていたただいていただけなんです。」

「今まで本当に苦労や絶望、辞めようと思った時期もあった。それでも今続けているのは、多くの方に助けてもらったからです。生かされてる...そんな感覚がありますね。だから今度は僕が自分がしてもらっ

たことを若い人にしてあげたい。」

ありがとうの気持ちを忘れない。辛い経験が糧となるからこそ、この新しいフラワーデザインが生まれてくるのだろう。

現在、小矢部商店街の人通りは少ない。しかし現状に負けず、人との繋がりを大切にしながら新しい事にチャレンジし続ける浩新さん。人一倍熱い感謝の気持ちを携えた浩新さんの今後の活動に注目していきたい。



フラワーショップ **花新**  
〒932-0053 小矢部市石動町1-35  
TEL/FAX 0766-68-1778  
営業時間：午前9時～午後7時  
定休日：月曜

## 花と空間のデザイナーの店長おすすめ あなたの生活に緑はいかがですか?

### ミニ観葉植物 10名様

募集期間：平成23年7月4日(月)まで  
PC・携帯からのご応募：<http://www.startaro.com/shop/>  
OYABE SNS会員様はキャンペーンに自動応募されます  
Oyabe Local SNS：<http://www.sns.startaro.com/>



プレゼント

小矢部はまだまだ  
元気になる!  
そんな気持ちになれる  
取材でした。



店長の一言